

# 福祉のかけ橋

平成27年3月号 第62号



## 県功労表彰を受けて

双葉グループ代表 徳成 花枝

県より一通の手紙が来ました。開けてみると県功労表彰してあげますとの通知でした。ビックリです。これも、前々からの部長さん方の実績、会員の皆さんの協力があったからこそと感謝しております。

双葉グループは、平成元年に設立、会員は十四名です。

目標としては、

- 地域とのふれあい
- 施設とのふれあい、交流、社会福祉の向上に向けて努力する

主な活動は、

- マーシ園との交流、軽作業の手伝い、シート交換
- 地域の環境美化
- 交通安全マスコット作り
- 高齢世帯訪問
- 地区行事、社協行事等参加協力等です。

今後とも皆様のご指導よろしく願います。

# こどもたちのゆめ

なおえ たいすけ  
直江 泰介

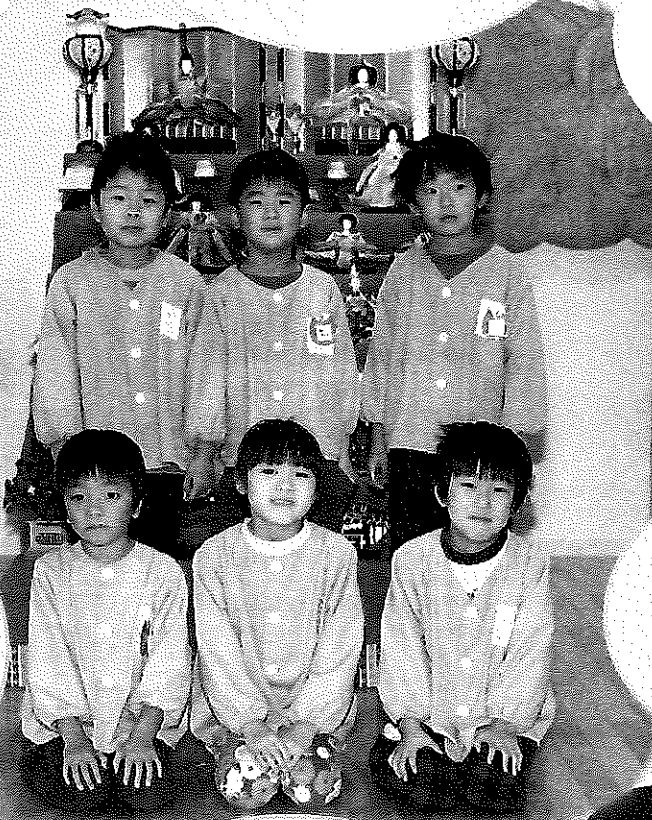
**川原崎** 僕は大きくなったら、野球選手になりたいです。投げてストライクにしたいからです。

かめだ かずき  
亀田 一毅

**清玄寺** 僕は大きくなったら、サッカー選手になりたいです。かっこよくドリブルやシュートを決めたいからです。

さわだ こうや  
澤田 昂弥

**清玄寺** 僕は大きくなったら、警察官になりたいです。かっこいいからです。



たかはし りんせい  
高橋 凜成

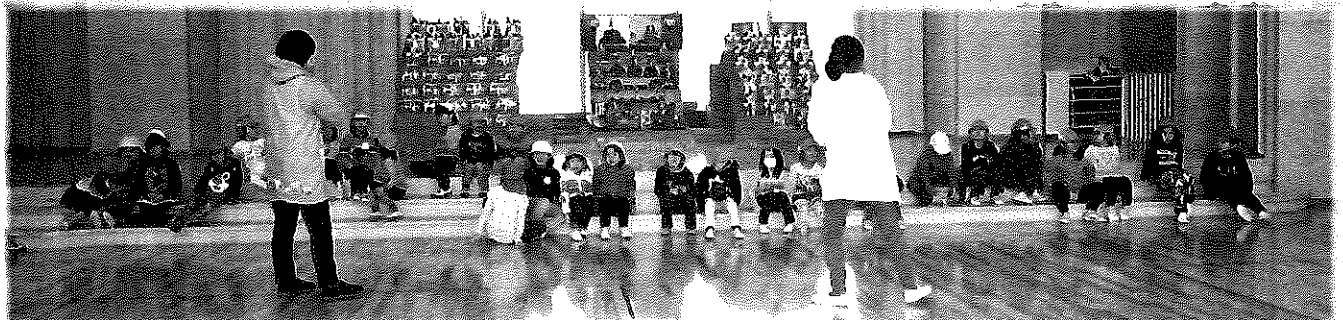
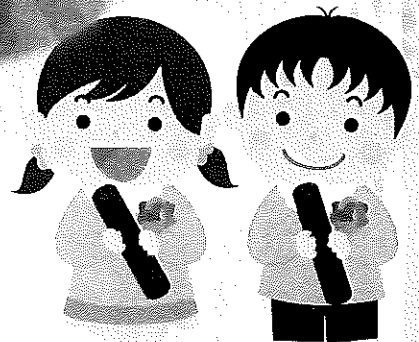
**院瀬見** 僕は大きくなったら、スキー選手になりたいです。大回転でカッコよく滑りたいからです。

いわた かいと  
岩田 凱翔

**今里** 僕は大きくなったら、歌手になりたいです。歌いたいからです。

まえだ ここみ  
前田 琴々美

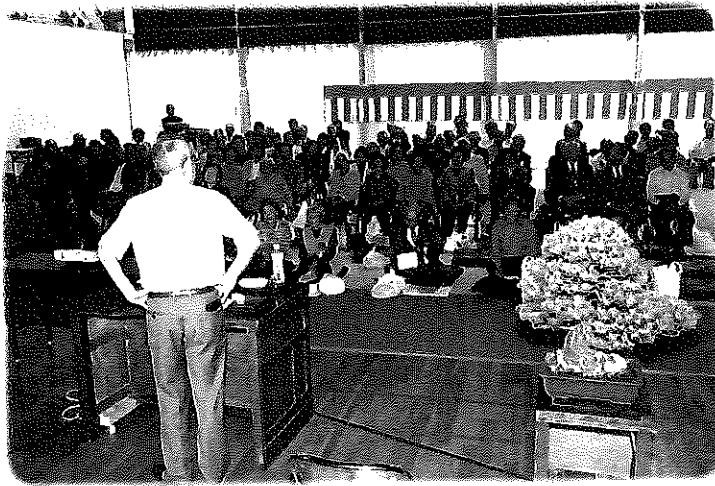
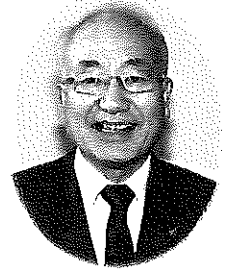
**谷** 私は大きくなったら、マニキュア屋さんになりたいです。みんなのツメをきれいにしたいからです。



# 地域包括ケアシステムの構築について

平成 27 年 2 月 27 日

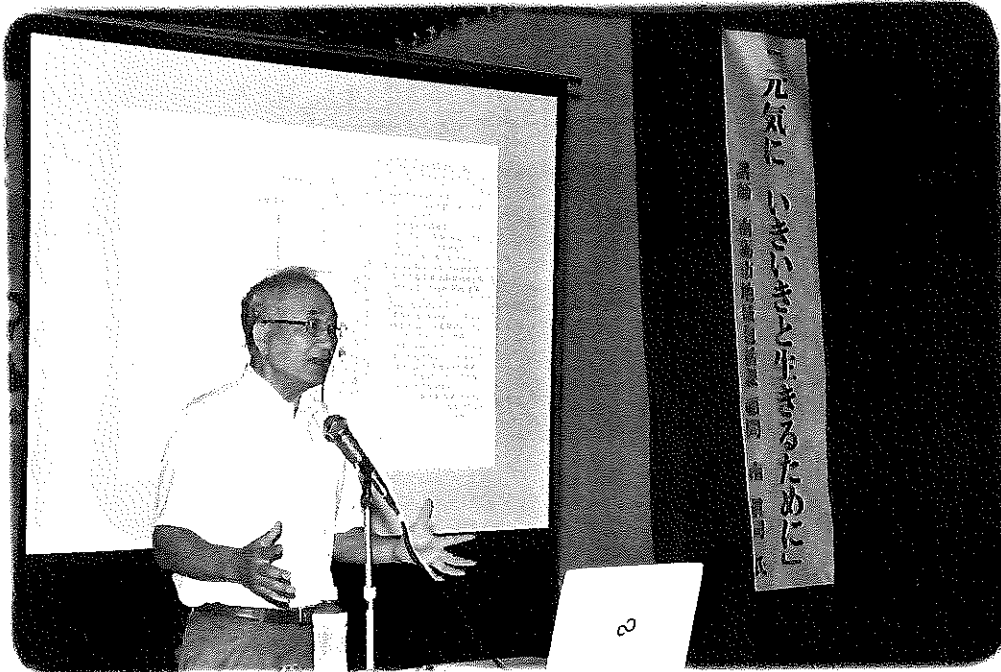
南砺市地域包括医療ケア局 地域包括課 顧問 南 眞司



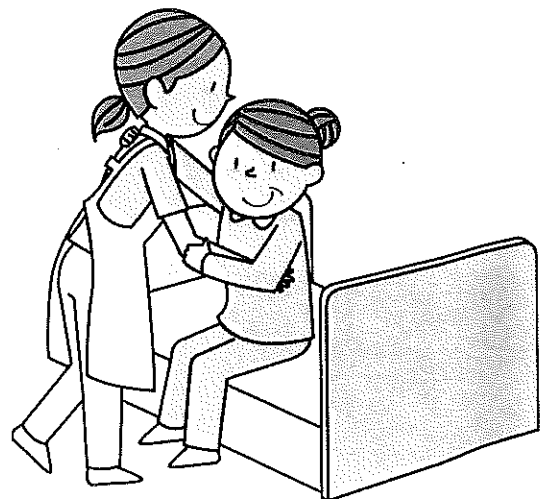
私は、昭和五十八年に旧井波厚生病院に着任以来、公立井波総合病院、南砺市民病院と名前は変わりましたが、三十一年間勤務した病院を昨年三月に定年退職しました。山斐に自宅を建て、午前中は引き続き南砺市民病院で診療をしています。

これまで訪問診療や訪問看護などの在宅医療を構築し、病气や怪我で介護が必要になくても、自宅で療養し看取りも可能な地域となつています。しかし、南砺市は若者が減少し、家族介護や生活支援が困難な独居・老々世帯が多くなり、在宅医療だけでは安心して暮らすことが困難

なつていきます。昨年四月より三十一自治振興会を廻り、住民に南砺市の現状と課題や今後の方向性などを説明し、意見交換をしています。医師として街づくりの話し合いは初めての経験ですが、地域住民の方々の思いから多くを学びました。南砺市の課題は、独居・老々世帯が増加し、家族介護力だけでなく、部落や地域で支え合える力も弱くなつてきていることです。



解決の糸口を得るため、昨年九月にオランダへ視察に行きました。独居や老々世帯がほとんどのオランダで、中重度の認知症の人が自宅で生活し死を迎えています。南砺市と同様、訪問看護師や家庭医など専門職が在宅医療でしっかり支え、高齢者が生き方を伝え自立に努め、別居の家族や地区住民が高齢者の生き方を尊重し、できる範囲で支援していました。南砺市でも、在宅医療と共に二十四時間対応の介護体制が必要ですが、住民もどう生きるかの自立性(覚悟)を持ち、家族や地域住民も可能な範囲で支援する思いと行動が求められています。暮らしやすく暮らす価値のある地域作り(地域包括ケアシステム)を、住民と共に進めて行きたいと思えます。



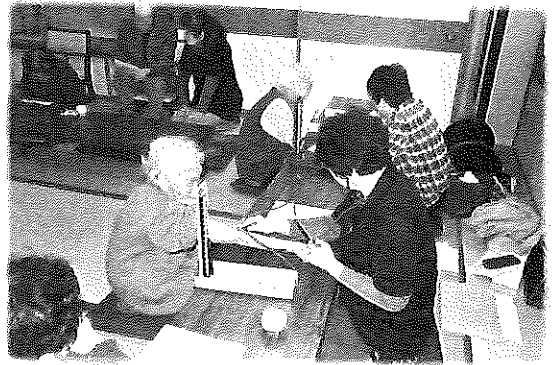
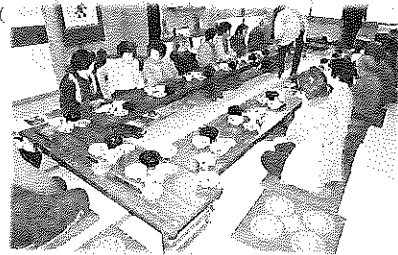
# ふれあい サロン

平成二十六年度は、第二回より第五回迄食生活改善推進員が中央研修会で教わったレシピを参考にしてサロンに食事を楽しんでいただくように致しました。

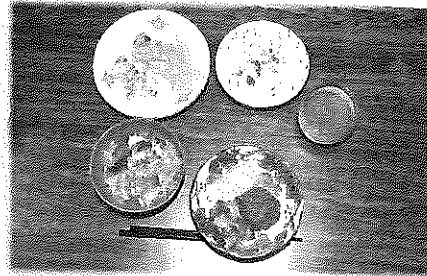
特に今年度は減塩をテーマにした生活習慣病予防食を中心にしました。

十一月（第四回サロン）には一年の無事を喜びあう心のもった伝統料理の報恩講料理。十二月（第五回サロン）花嫁のれんをかけ、それにまつわるビデオを鑑賞し、クリスマスケーキを作っていたいただきました。二月（第六回サロン）には、おひな様を飾り、お鍋を囲みました。そしてお折紙でひな人形を作ったり、ひな祭りの歌を歌ったり、おやつには桜餅を作ったり、ひな祭り一色でした。童心に返ったように嬉しそうでした。毎回役員が中心に創意工夫し参加人員も毎回増え総勢三十五名以上で参加され、皆さんとっても楽しそうです、みんなの笑顔が好きです。

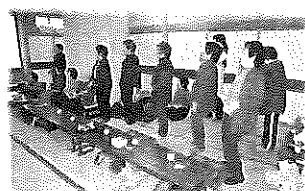
## 第4回サロン



## 第5回サロン



## 第6回サロン





### 役員研修会

魚津市にある福祉のまちづくりを進めている施設を十月三十日バスで出かけ、先進的に活動している施設（NPO 法人 つむぎ倶楽部）を見学・学ぶ研修会が役員・ボランティア二十一名参加して開催されました。



NPO 法人 つむぎは、人生と社会の歴史を縦糸に年齢、病気障害に関係なく人との関わりを横糸に充実した人生を織り上げる、そんな暖かいまちづくりを目指して平成十六年に設立し、多様な支援サービス施設が併設されています。

そのうちの施設・つむぎは元開業医宅の民家を改修し高齢者や障害者の支援に様々なメニュー（昼食会、健康介護相談、歌、絵手紙、小物づくり、太极拳等希望を取入れ）が用意された通所サービスの家です。そこは元気な高齢者や趣旨に賛同する人が手伝い・ボランティアとなり、自宅にいるように語らい、庭を眺め、大勢の人との交流で一日を過ごし、認知症の人やその家族の参加もあります。介護が必要な人も元気な高齢者も生きがいを見つけ、閉じこもりになることなく出掛けて行ける場所であり、在宅で少しでも長い健康生活が継続するよう地域の支え合い・ひと・場所が、その先駆的試みにより、自宅に居る様な一日が過ごせる施設・つむぎです。

元気でない人も元気な人も集まるのが魅力でこれから必要な場所・施設であり、より近い距離にあることが望ましいと感じた。その後場所を移し昼食休憩、参加者が日頃の疲れを癒し、交流し充実した一日研修でした。

(T・I)

### 役員研修講演

一月二十四日地区社協役員研修会が開かれました。今年には南山見ばかりではなく井波各地区の社協にも声をかけ井波社会福祉センターホールにて富山県高齢福祉課長 須河弘美氏を迎え、「みんながみんなを支える」高齢者福祉の今後」について講演をいただきました。私たちが抱える高齢化問題を総合的総括的にお話いただき、高齢化の巨大な波は単に福祉制度や行政に頼るだけでは持ちこたえられず、地域が力を合わせ、又、個々人の努力の積み上げが大切であること、活動を担う社会福祉協議会の責任の重さを痛感する研修会でした。

(S・M)



### 歳末見舞い

十二月二十日（土）、歳末見舞い訪問を行いました。対象は七十五歳以上の一人暮らし、八十歳以上の高齢者、百二十九名の方です。

食改、ボランティアの方々の協力で朝からお赤飯を作っていたいただき、お菓子と一緒に地区社協の役員がお届けしました。

手作りの赤飯を食べていただいて、新しい年を健康で迎えていただき、これから始まる寒い冬を乗り切って元気に過ごされることを願ってお届け致しました。

皆さんには大変喜んでいただき、私達も元気をもらいました。今回協力していただいた方々にも感謝申し上げます。

(Y・S)



平成 26 年 南山見地区社協

# 事業計画及び経過

(平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月)

年月	事業内容	
10月30日	先進福祉施設見学研修会 NPO法人つむぎ	魚津市
11月1日	広報「福祉のかけ橋」発行	
11月13日	第4回ふれあいいきいきサロン	南山見公民館
11月16日	南山見地区文化祭活動報告	南山見公民館
12月4日	第5回ふれあいいきいきサロン	南山見公民館
12月10日	第3回役員会	南山見公民館
12月11日	地区社協連絡会 ケアネットチーム員交流会	井波総合文化センター
12月20日	友愛訪問(80歳以上の高齢者及び75歳以上の一人暮らし)	南山見公民館
平成 27 年		
1月21日	友愛訪問花鉢贈呈 (75歳以上の一人暮らし)	
1月24日	役員研修会 講師 富山県厚生部参事 高齢福祉課長 須河弘美氏	井波社会福祉センター
2月8日	三世代交流の集い	南山見公民館
2月20日	広報「福祉のかけ橋」編集委員会	南山見公民館
2月27日	第6回ふれあいいきいきサロン	南山見公民館
3月2日	地区社協連絡会 地域福祉サポーター交流会	井口社会福祉センター
3月6日	広報「福祉のかけ橋」編集委員会	南山見公民館
3月9日	在宅介護者訪問支援	
3月31日	役員会(年度末決算見込み 新年度事業予算等) 広報「福祉のかけ橋」発行	南山見公民館

## 花鉢配布

平成二十七年一月二十一日、地区内の単身高齢者の方々(九名)を会長、地区社協役員、民生委員が訪問し、春の香りがただよう花鉢をプレゼントしました。

まだまだ、寒い雪の日も多々ある中、一足早い春の使者に、思わず目を細めて眺めていただきました。これからもお元気で過ごしてください。(M・N)



## 在宅介護者支援

在宅ねたきりの方を介護しておられる十五家族の労をねぎらい三月九日に入浴券や日用品を贈りました。会長、地区社協役員、民生委員がそれぞれの対象の方の家を訪問し心ばかりの品物をお渡しして、少しでも毎日の生活をリフレッシュしていただきたいと思っております。(T・T)



## 編集後記

五十年來願っていた北陸新幹線が開業しました。今まで以上に東京ー富山間の交通が便利になり、観光やビジネスにと、より一層の経済効果をもたらしてくれそうです。ここ富山には美味しい食べ物や地酒、何よりも立山連峰や日本海などの雄大な景色がより多くの

人々の心を感動させ引き付ける事でしょう。私達も足を外へ一歩踏み出し、色々な所へ訪れるのもいいものではないでしょうか。(R・T)

発行所	富山県南砺市川原崎 南山見公民館内	発行	平成二十七年三月	号数	第六十二号
発行者	南山見地区社会福祉協議会				

◎誌名及び綴りまちがひ

## 地区社協後援 カラオケ同好会発足!

開催日 毎月第3金曜日  
19:30～

場所 南山見公民館

会費 100円  
(連絡・案内等雑費として)

飲食物 各自、自分の分を持ちより  
楽しくやりましょう

